

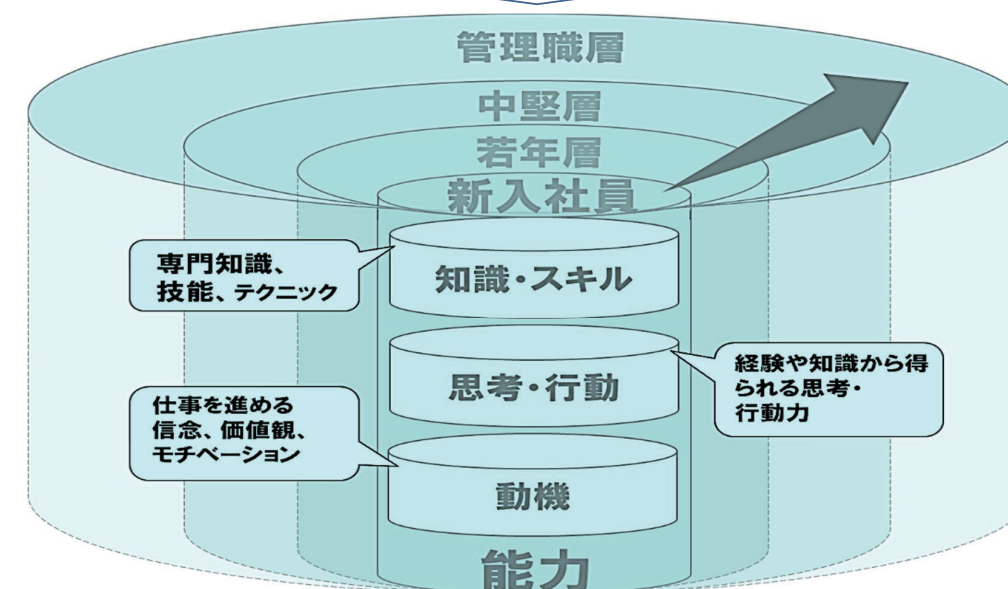
ICTカレッジ新入社員研修サービス 2020年度版

デジタルビジネスの時代が到来し、様々なサービスを早期に提供することが重視されるようになりました。そこでは、変化に対応できる柔軟な人材や、新しい取り組みにスピード感を持ってチャレンジできる人材が求められています。

それらを踏まえ、ICTカレッジではアジャイル開発（サービスを素早く提供し、継続的改善のプロセスが実践できる手法）のエッセンスを習得するコースを新たにご提供いたします。

私たちは時代を見据えたサービスを提供し、目の前の新入社員と真摯に向き合うことで、新入社員が現場で成長し続けるための能力の核づくりをご支援します。

ICTカレッジの新入社員研修は、
プロフェッショナルとして成長し続ける人材の
核をつくります



能力には3つの要素があり、各階層により育成すべき内容は変わります。
新入社員時は、その先の**能力向上**を意識し、**基本要素**を固める必要があります。

動機	思考・行動	知識・スキル
やる気の醸成 働く・仕事をする意味付け 役割の認識	深掘・熟考 常に前進 果敢に挑戦 己を把握、強みを伸長、弱みを克服	ITスキル基礎 ビジネススキル基礎
新入社員研修では、上記の 能力 の 核 の育成をサポートします。		

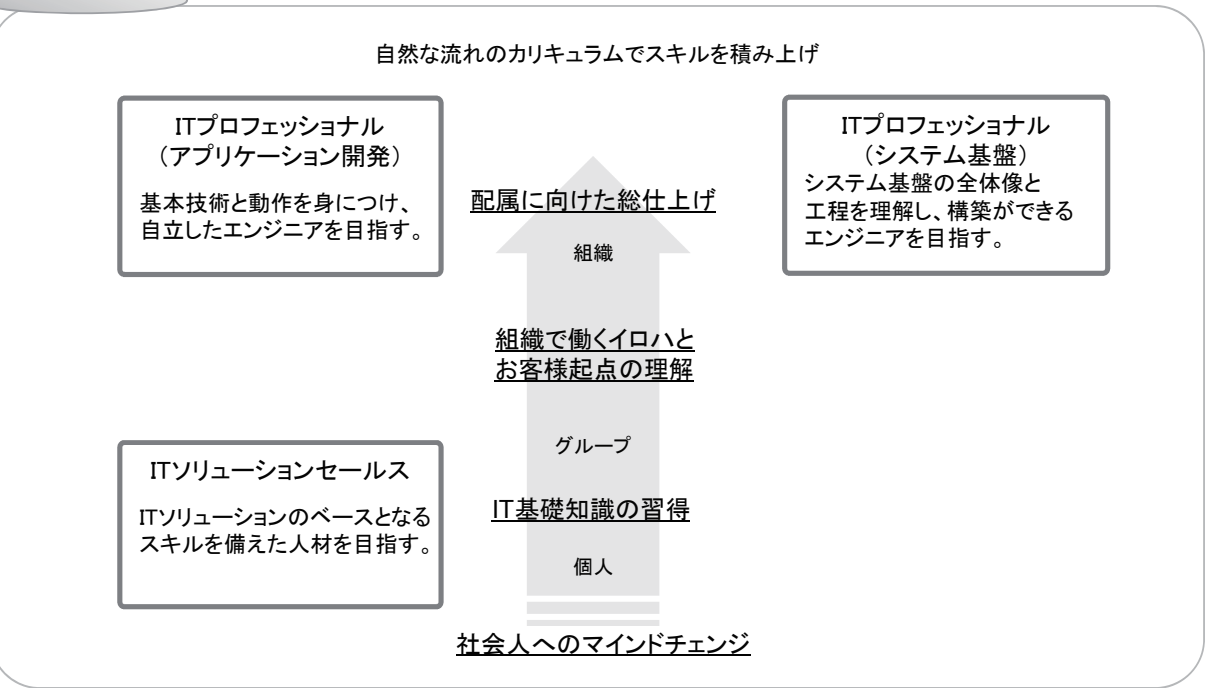
新入社員研修後も現場の最前線で活躍できるよう、
長期的に階層別、職種別研修で**能力向上**を支援します。



能力の3要素を育てる取り組み

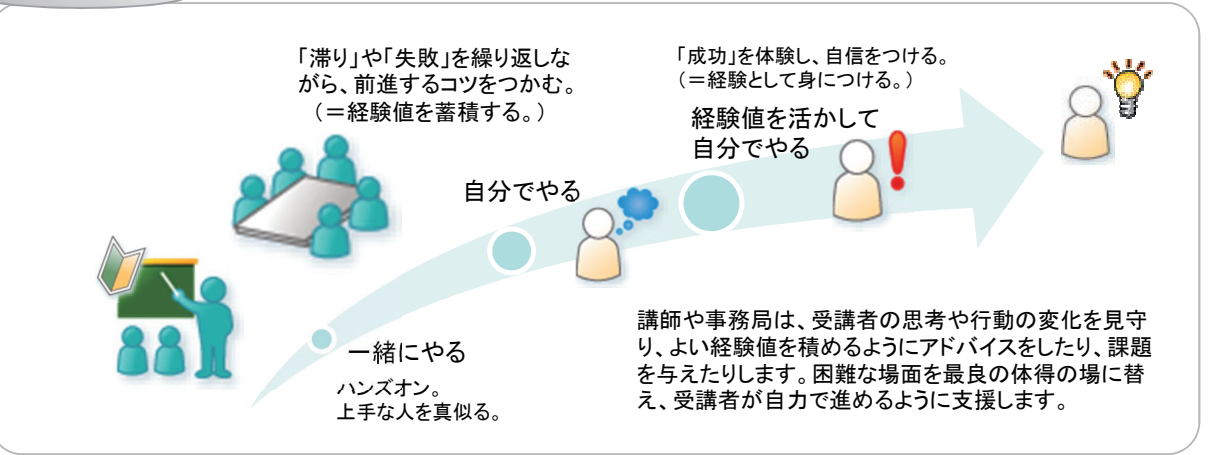
知識・スキル

特長1. 人材像別カリキュラムで知識・スキルを積み上げる



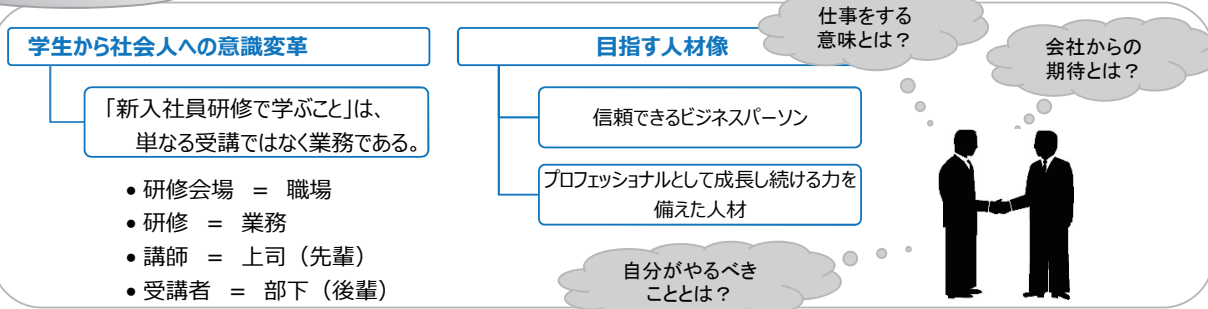
思考・行動

特長2. 業務を体験してコツをつかみ、経験を活かして挑戦する



動機

特長3. 仕事をする意味や価値を見出し、挑戦し続ける



成長を促す取り組み

※各コースで実施する取り組みは、各コースの概要ページでご確認ください。

スピーチトレーニング

決められた時間内に自分の考えを分かりやすく相手に伝えるトレーニングです。ビジネスシーンで人前で話す際の言葉遣い、立ち居振る舞いを意識しながら実践します。

ビジネススキルトレーニング

ビジネスパーソンの基本動作(マナーやコミュニケーション)の体得を目的に、研修で学んだスキルをケースに応じて実践します。

KPTによる振り返り

研修中の作業を振り返り、改善活動をするための取り組みです。グループで継続すること(Keep)、課題(Problem)、改善のために取り組むこと(Try)について日々話し合います。

リフレクションレビュー

実務に活用できるレベルでの知識の定着を目的とし、重点学習項目を自分の言葉で解説します。聞く側も、解説に対する意見を述べて自身と解説者の理解を深めます。

電子教材

「電子教材コース」では、コース教材の一部を電子(PDFファイル)化しています。電子教材は検索性が高く、タブレットで持ち運びも手軽、しかもペーパーレスでエコロジーです。

ビジネススキルチェック

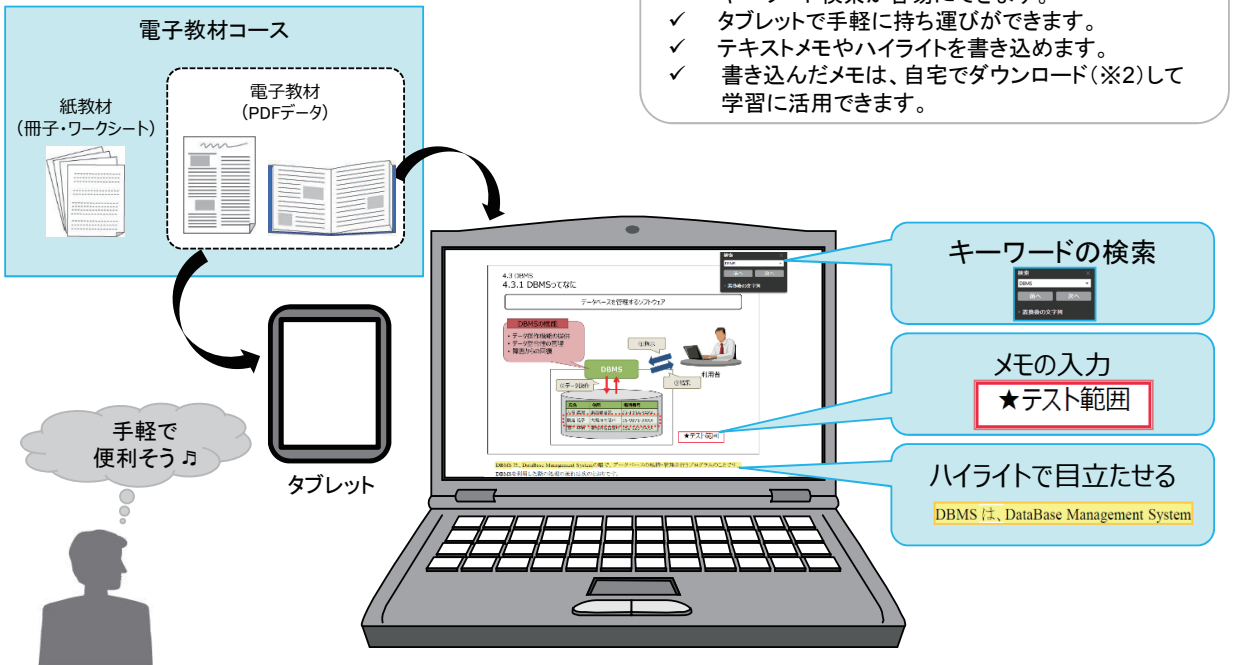
研修開始時と終了時に、「ビジネススキルチェックシート」を使って自分のスキルを評価し、受講前後の比較によりビジネススキルに関する成長度合いを測ります。事後のチェックにおいて不安が残るスキル項目は、自分自身の達成目標を明確にし、繰り返し学習します。

【電子教材】電子教材の活用方法

電子教材は、タブレット(※1)や研修用PCの画面で閲覧でき、さらにメモの書き込みも可能です。

＜電子教材のメリット＞

- ✓ キーワード検索が容易にできます。
- ✓ タブレットで手軽に持ち運びができます。
- ✓ テキストメモやハイライトを書き込めます。
- ✓ 書き込んだメモは、自宅ダウンロード(※2)して学習に活用できます。



※1 電子教材コースの受講者には、一人1台、電子教材閲覧用タブレットを該当コース受講期間中貸与します。
※2 電子教材配信システムKnowledgeR@ckを使用します。

受講者の成長を把握するサービス

※各コースで実施する取り組みは、各コースの概要ページでご確認ください。



日報

受講者は毎夕、Webシステムで「新人研修日報」を入力し、受講の成果や所感を育成ご担当者様へ報告します。



個人カルテ

理解度テストやスキル測定の結果、講師による評価コメントをまとめた「個人カルテ」を発行します。



理解度テスト

コース終了時にテストを実施し、知識の定着度を測定します。一部のコースでは研修の前後にテストを実施し、スキルの伸びを確認します。



成果発表会

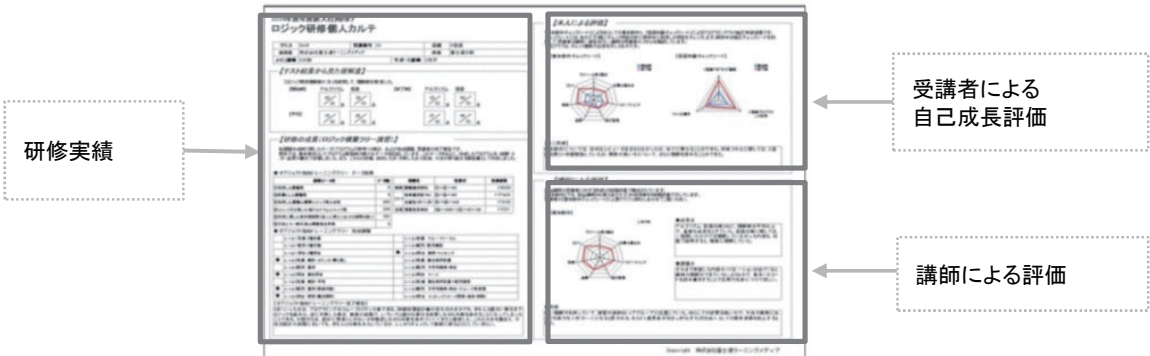
受講者が研修の成果を発表する機会です。受講者の成長した姿をご覧いただけます。受講者自身で発表資料を作成し、発表方法を考え、研修の成果をプレゼンテーションします。

【個人カルテ】 研修全体の受講成果を確認

受講者一人ひとりの研修全体の受講成果をまとめた「個人カルテ」を発行します。配属時の育成方針の検討などにご活用ください。

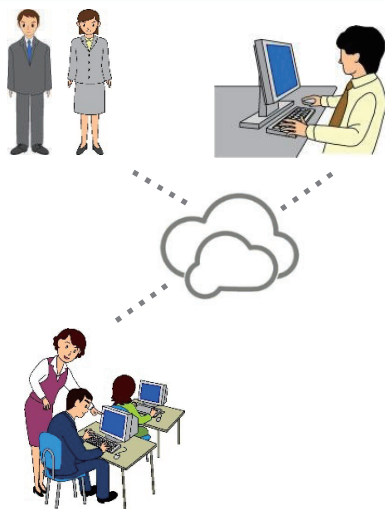
＜主な観点＞

- ・研修実績 … 理解度テストやスキル測定の結果、課題進捗（定量評価）
- ・受講者による自己成長評価 … 基本動作および知識・技術の定着度実感（定量評価）、演習成果報告、意識の変化など（定性評価）
- ・講師による評価 … SE基本動作の発揮（定量評価）、成長点/課題点/育成における気づきや所感（定性評価）



※個人カルテの発行条件は各コースの概要ページをご確認ください。
※個人カルテの内容はコースによって異なります。

受講管理システム



育成ご担当者様は専用のWebシステムで受講状況をリアルタイムに閲覧できます。また、受講実績データは、ダウンロード※してお役立てください。

※CSV形式（日報のみPDF形式）

＜Webシステムの主な機能＞

タイムカード	出勤・退勤の時刻が確認できます。
日報	受講者の日々の成果や所感が確認できます。育成ご担当者様から受講者へコメントを入力できます。受講者のフォローアップに活用できます。
理解度テスト	学習内容の理解度を測定するテストの結果が確認できます。 ※理解度テストを実施しないコースもあります。
受講報告書	各コースの終了時に、育成ご担当者様宛てに提出します。コース全体の成果や気づきが確認できます。
掲示板	育成ご担当者様と受講者で文字コミュニケーションができます。一対一や一対多で閉じた環境のため、安心して利用できます。

変化に対応できる柔軟な人材を育成！
「アジャイル開発」コースを新設しました！

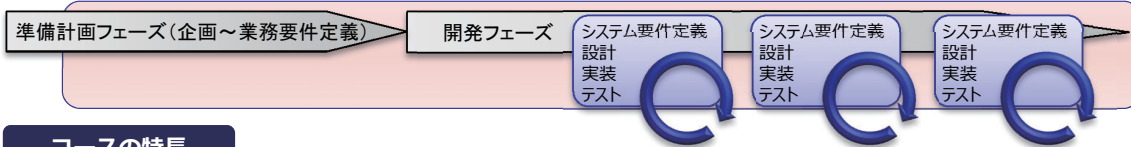
NEW

今求められる人材育成に最適

近年では、市場のニーズの変化が速く、そのスピードに合った対応が求められています。そこで、サービスを素早く提供し、継続的改善のプロセスが実践できる手法として「アジャイル開発」が注目されています。
アジャイル開発の学習をとおして、**変化（環境の変化・変更追加要件など）に対応できる柔軟な人材や新しい取り組みにチャレンジできる人材**を育てることができます。
本コースは新入社員だけではなく、最近注目されている「アジャイル開発」ではどのようにシステム開発を進めていくのかについてご興味のある、情報システム部門の方やユーザー企業の方にもご受講いただける内容となっています。

コースの学習範囲

準備計画フェーズ（企画～業務要件定義）では、決められた要件に従って開発をするのではなく、お客様の要望に寄り添って要件を整理する方法を講義と演習をとおして学習します。開発フェーズでは、開発したシステムを1度リリースして終わるのではなく、開発からリリースを繰り返すことで常にお客様にとって高い価値を提供し続けます。



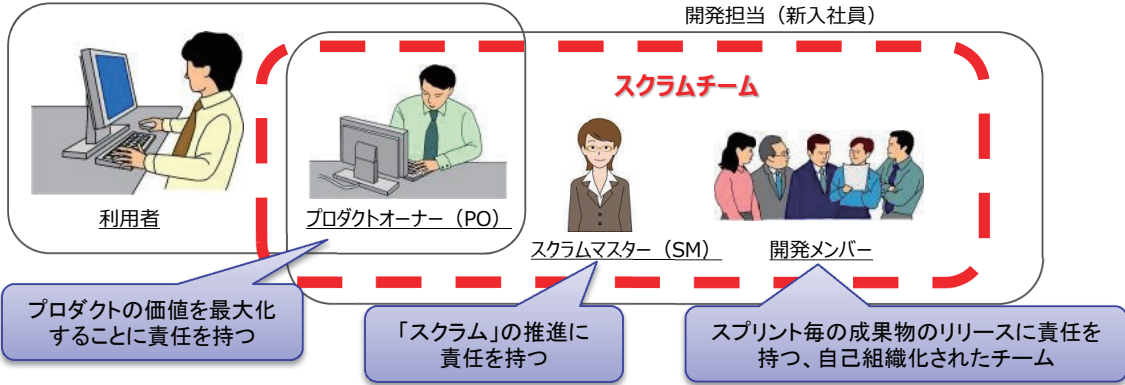
コースの特長

アジャイル開発手法のひとつであるスクラムをとおして、4つの力を育てます。



演習イメージ

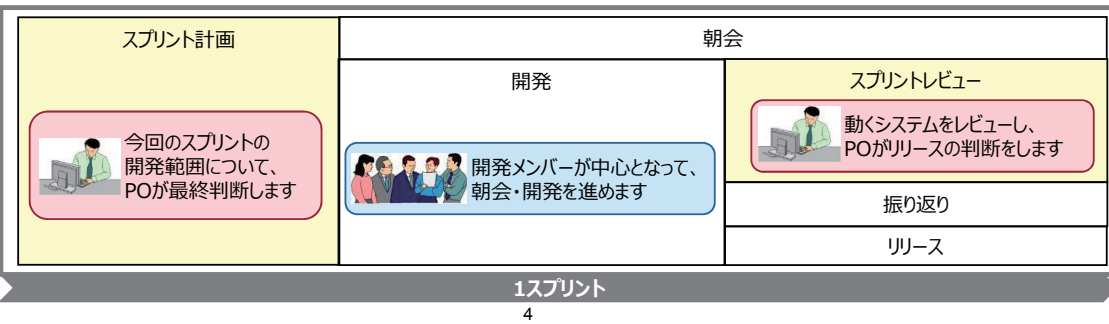
受講者と講師が1つのスクラムチームを組んでアジャイル開発を進めます。
ユーザー部門（講師）



スプリント（開発サイクルの単位）ごとに開発およびリリースを進めます。スプリントを繰り返し回すことにより、常にお客様にとって高い価値を提供し続けます。

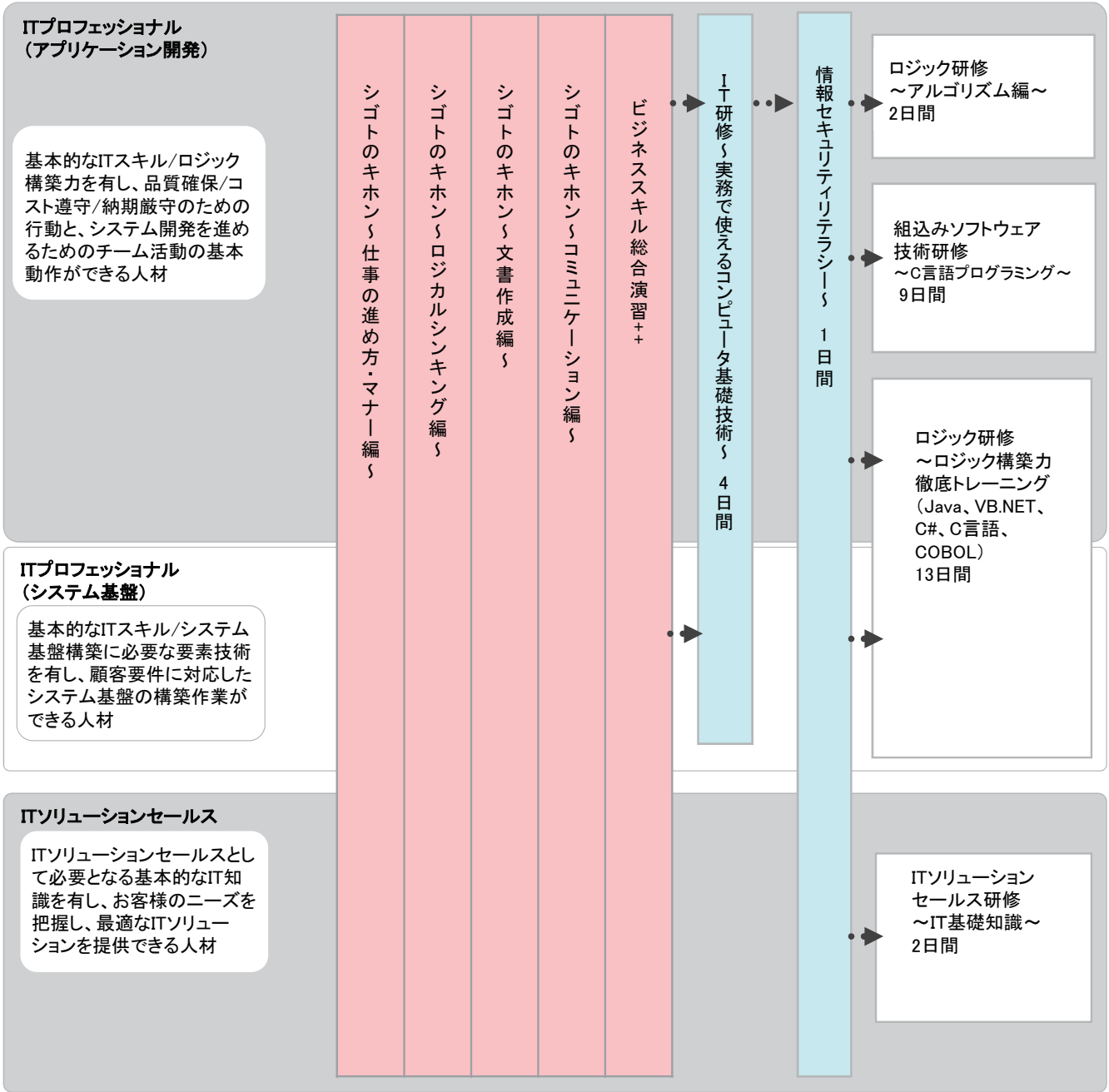
SMはスプリント全体をとおして、プロジェクトが上手にいくよう推進します

～1スプリント内の流れ（例）～ ※3日間の研修期間の中で数スプリント回します。



ICTカレッジ 2020年度 人材像別育成プラン

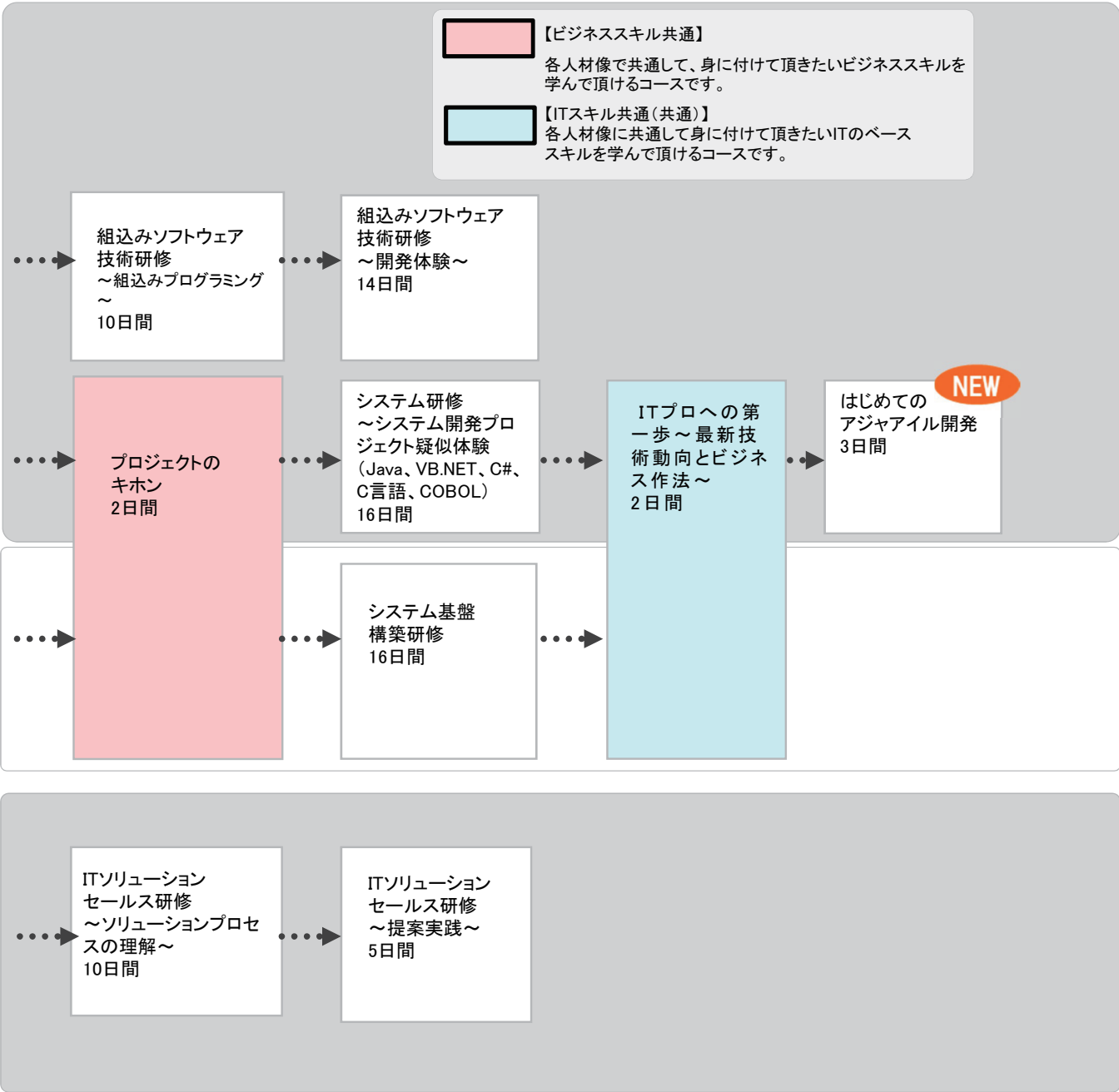
目指す人材像とそれに応じた育成プランをご用意しております。 また、知識・スキルを自然な流れで積み上げて定着



開催日程はICTカレッジのWebサイトにてご確認ください。
<https://www.jisa.or.jp/Portals/0/resource/seminar/ictpro/shinjin/index.html>

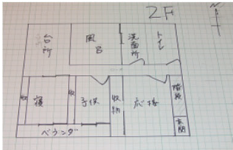
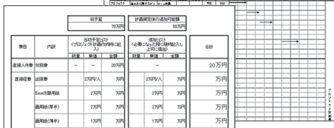
※ご要望に応じて各コースをカスタマイズし、「お客様個別開催研修」としてのご提供も可能です。
お気軽にご相談ください。

させるための仕掛けを各コースに組み込んでいます。



※ご要望に応じて各コースをカスタマイズし、「お客様個別開催研修」としてのご提供も可能です。お気軽にご相談ください。

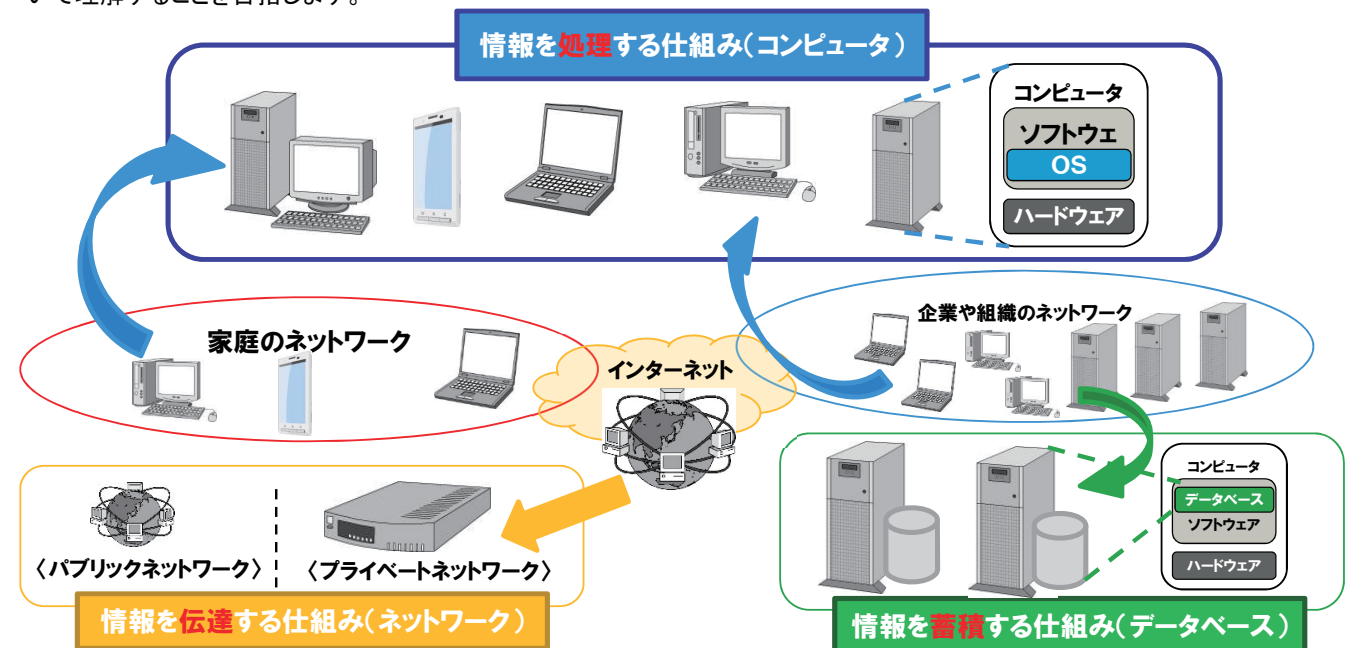
ビジネススキル総合演習++						
紙教材 コースコード	NAI29L	価格(税込)	会員52,800円／非会66,000円	期間	2日間	
開催日程	東京・大阪・名古屋:4/9～4/10	前提知識	「新入社員のためのシゴトのキホン」の4コース(NAI21L～NAI24L)を修了している人。または同等の知識がある人。			
概要	緊張感のあるビジネスの現場を再現した総合演習で、仕事を疑似体験し、ここまで学習したビジネススキルを総合的に実践します。演習では、「知っていること」と「できること」の違いを体感します。試行錯誤し、繰り返し実践することで、PDCAそのものを深掘りし、自分に合う方法で深く振り返ることの重要性を認識します。また、効果的なフィードバックとは何かを理解し、演習を通じてフィードバックを相互に繰り返し、今後の成長のための目的、目標を明確化します。		目標	1. PDCAを回しながらビジネススキルを実践し、自分の行動特性とビジネススキルの現状レベルを把握する。 2. PDCAの有効性を実感し、自分なりの回し方のコツを習得する。 3. 相手に必要と思われるフィードバックを実施し、成長の手助けができる。 4. フィードバックを受け止め、効果的に自分の成長に活かすことができる。		
スケジュール			ゲームフィケーションを取り入れた演習			
【1日目】 ◆オリエンテーション -社会人としてのビジネススキル発揮 -自己の目的、目標 ◆ビジネス総合演習(演習) ◆成長を促すフィードバックについて 【2日目】 ◆ビジネス総合演習(演習)のつづき ◆振り返り -ビジネススキルの振り返り -主体性発揮の状況、目標の振り返り -アクションプランシートの作成			フィードバックで絆を構築			
						
比率(講義:演習)			3:7			

新入社員のためのプロジェクトのキホン								
紙教材 コースコード	NAI28L	価格(税込)	会員52,800円／非会66,000円		期間	2日間		
開催日程	東京:5/13～5/14、6/8～6/9 大阪・名古屋:5/13～5/14	前提知識	「新入社員のためのシゴトのキホン」の4コース(NAI21L～NAI24L)および「ビジネススキル総合演習++」(NAI29L)を修了している人。または同等の知識がある人。					
概要	モノ作りをととして、プロジェクトを円滑に進めるために必要な要素(品質、コスト、納期、チームワーク)について学習します。また、ビジネスにおけるステークホルダーを意識し、お客様起点で物事をとらえることの重要性を学習します。			目標	1. プロジェクト活動の流れを説明できる。 2. プロジェクト活動に必要な仕事の進め方を理解する。 3. プロジェクト活動に必要なチームワークを身につける 4. お客様起点の重要性を説明できる。			
スケジュール						「2世帯住宅の設計・模型作成」プロジェクトを疑似体験します。プロジェクト活動を体感することで、QCD遵守の難しさや、チームワーク、さらにお客様起点の重要性に関する『気づき』を得て、現場のプロジェクトに携わる心得を育みます。 プロジェクトの立ち上げ 計画 実行・コントロール 終結 ➢プロジェクト目標設定 ➢チーム編成 ➢プロジェクトの計画(スケジュール、予算) ➢顧客要望の確認 ➢設計図、模型、提案書の作成 ➢上司レビュー ➢顧客レビュー ➢納品 ➢プレゼンテーション ➢プロジェクトの評価  プロジェクト活動のプロセスごとに、個人およびチームで振り返りを行い、PDCAを実践する力、マインドを醸成します。 ■主な成果物 		
【1日目】								
◆プロジェクトとは								
◆プロジェクトメンバーとしての心得								
◆お客様起点とは								
◆プロジェクト演習								
-キックオフ、目標設定								
-プロジェクト計画策定								
-上司レビュー								
【2日目】								
(プロジェクト演習のつづき)								
-顧客要望確認								
-ヒアリング								
-設計図作成								
-模型作成								
-納品								
-提案コンペ(プレゼン)								
-結果発表								
◆振り返り								
◆理解度テスト								
比率(講義:演習)		3:7						

【ITスキル共通】新入社員のためのIT研修 ～実務で使えるコンピュータ基礎技術～							
電子教材	コースコード	NBI04L	紙教材	コースコード	NBI13L	期間	4日間
	価格(税込)	会員82,720円 非会員103,400円		価格(税込)	会員87,120円 非会員108,900円		
開催日程	東京:4/13～4/16、5/13～5/18、6/3～6/8、10/7～10/12 名古屋:4/13～4/16、5/13～5/18、10/7～10/12 大阪:4/13～4/16 九州:4/14～4/17						
前提知識	特に必要ありません。						
概要	これから情報システムに関わる新社員にとって、情報システムの構成要素や原理原則の正しい理解は必要不可欠です。本コースでは、情報システムで利用されている各種技術(情報を処理する仕組み、伝達する仕組み、蓄積する仕組み)について学習します。また、学習した内容を活用して、世の中で利用されているさまざまな情報システムの構成を考察し、情報システム全体の構成をイメージすることで、知識の定着を図ります。						
目標	1. 情報システムにおけるシステム構成やシステムライフサイクル(企画、要件定義、設計、開発、テスト、運用、廃棄)、システム開発手法について説明できる。 2. コンピュータに必要なハードウェアとソフトウェアの役割と、コンピュータの5大機能(装置)について説明できる。 3. OSの役割や内部の仕組み(プロセス管理、メモリ管理、入出力管理など)について説明できる。 4. ネットワーク技術の概要を理解し、コンピュータ同士の通信を実現するための機器や仕様について説明できる。 5. データベース技術の概要とDBMSの役割を理解し、効率的なデータ検索・更新のために必要な事項について説明できる。					比率 (講義:実習・演習)	6:4
スケジュール	【1日目】 ◆事前理解度テスト ◆情報技術と情報システム ◆コンピュータ		【2日目】 ◆オペレーティングシステム ◆ネットワーク		【3日目】 ◆ネットワーク(続き) ◆データベース		【4日目】 ◆データベース(続き) ◆情報システムの全体像を知る ◆事後理解度テスト

ここがポイント！

コンピュータが誕生し、企業の経営や事業の合理化、効率化などを目的とした「情報システム」が発展することで、ビジネスは大きな変化を遂げてきました。「情報システム」を支える「情報技術」が広く浸透し、当たり前になった現在では、個々の情報技術を理解すること以上に、各情報技術を組み合わせ、いかに新しいサービスを提供するかに注目が集まっています。本研修では、各情報技術を個々に理解するだけでなく、情報システムの全体を俯瞰し、要素技術を整理して学習することの重要性について理解することを目指します。



【ITスキル共通】
新入社員のための情報セキュリティリテラシー

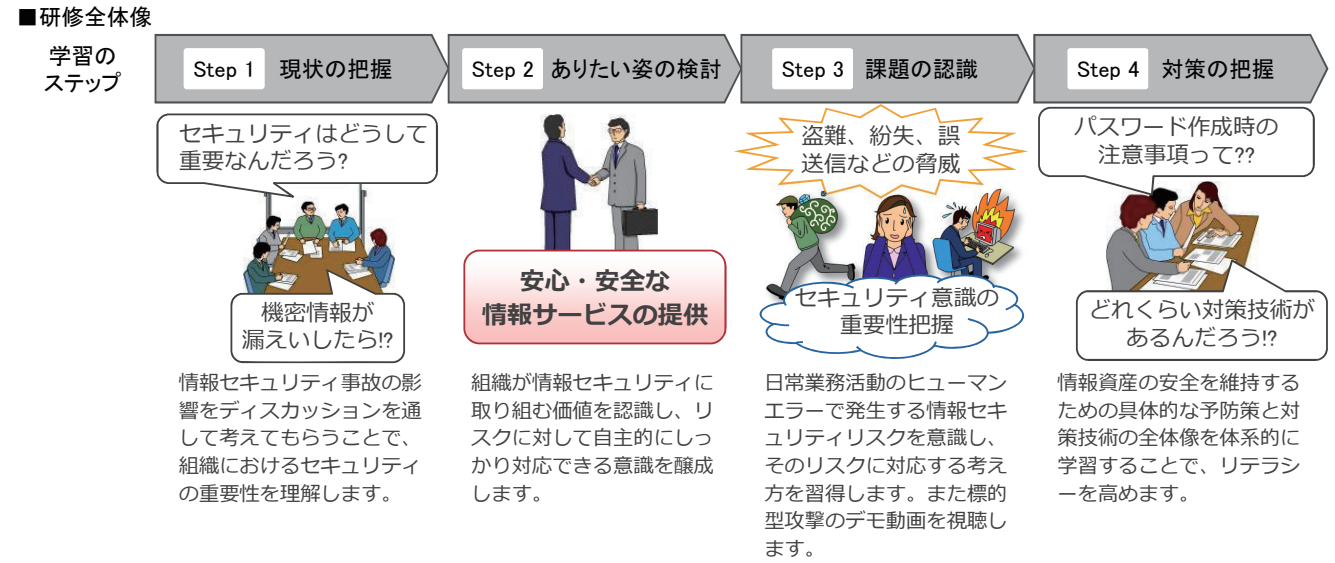
コースの
ねらい

1. 業務情報を取り扱う際のリスクの回避
2. 社内情報セキュリティ規定の必要性の理解
3. 情報セキュリティ品質の提供における意識向上

ビジネスで信頼されるための情報セキュリティリテラシーが業界で非常に重要となっています。身近な情報や組織の情報の影響について考えながら、配属後のヒューマンエラーの予防方法や、サービス提供時に必要なセキュリティ品質の意識を身につけます。

電子教材	コースコード	NSA01L	紙教材	コースコード	NSA02L	期間	1日間
	価格(税込)	会員26,400円 非会員33,000円		価格(税込)	会員28,160円 非会員35,200円		
開催日程		東京:4/17、5/19、6/9、6/24、10/7、10/13 大阪:4/17 名古屋:4/17、5/19 九州:4/20				比率 (講義:実習・演習)	5:5
前提知識		特に必要ありません。					
概要		信頼される安全な情報管理やサービス提供の実現に向けて必要となる情報セキュリティ分野の基本知識について、組織の一員としてのリスクをベースにしながら体系的に講義と演習を通じて学習します。					
目標		1.個人から組織までの情報セキュリティを取り巻くリスクの現状を確認し、対策の必要性および重要性を理解する。 2.日常業務で一般的に必要な情報セキュリティ対策に体系的に取り組む上で基本となる、用語の定義やその対策の進め方について把握する。 3.組織の情報セキュリティ製品・サービス群の全体像と分類構成を認識する。					
スケジュール		◆情報セキュリティの重要性を理解する -情報セキュリティの必要性と現状 [演習]自分自身の情報セキュリティリスクを考える [演習]企業・組織の情報セキュリティリスクを考える -サイバー攻撃時代と今後の社会 -組織における情報セキュリティの仕組み -情報セキュリティの実現に向けた活動 [演習]普段の情報セキュリティ対策活動を振り返る ◆これからの立場と情報セキュリティの関係を考える -お客様とのつながりと立場 -ヒューマンエラーによる情報セキュリティ事故 [演習]普段の生活で見直すべき行動を振り返る -ICTシステムにおける技術的対策 [演習]標的型攻撃の振る舞いを見る -情報セキュリティの実現に向けた課題 ◆日頃から情報セキュリティ対策を意識する -情報セキュリティの実現に向けた取り組み -日常業務での情報セキュリティ対策 [演習]パスワードを設計する -情報セキュリティのソリューション [演習]どのようなソリューションがあるか調べる -情報セキュリティリテラシーを向上させるための考え方 -情報セキュリティの実現に向けて					

- ◆ここがポイント！
- ① なぜ会社の情報を守らないとならないかについて、個人から組織の視点に変えつつ情報セキュリティの大切さを理解します。
 - ② 誤った判断による情報セキュリティインシデントを未然に防ぐため、ビジネスパーソンとして情報を安全に取り扱う力を身につけます。
 - ③ 今後提供するシステムにおいて必要となる安全性について、情報セキュリティリスクや品質の考え方、業界動向などをベースに主体性を持って取り組む意思を醸成します。



【ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)】
新入社員のためのロジック研修 ～アルゴリズム編～

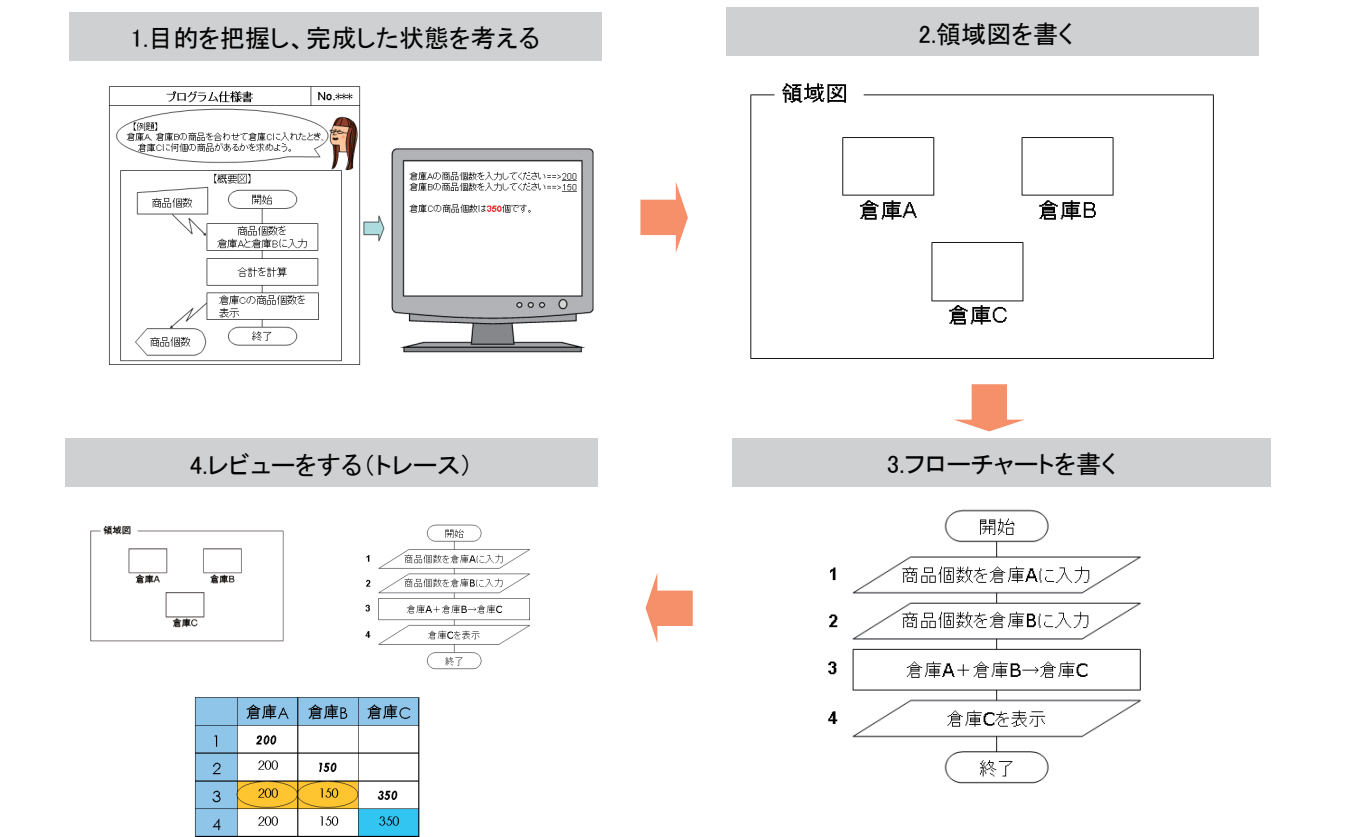
コースの
ねらい

プログラミングに必要な論理的思考力を身につけ、基礎となるアルゴリズムを学びます。考えついたアルゴリズムをフローチャートとして作成できる実践力を身につけます。作成中でのレビューや、フローチャートをトレースすることの重要性も理解します。

電子教材	コースコード	NBI02L	紙教材	コースコード	NBI14L	期間	2日間
	価格(税込)	会員41,360円 非会員51,700円		価格(税込)	会員45,760円 非会員57,200円		
開催日程		東京:4/20～4/21 名古屋:4/20～4/21、10/14～10/15					
前提知識		特に必要ありません。					
概要		基本アルゴリズムを講義と演習をとおして学習します。標準的なアルゴリズムのパターンを理解し、フローチャート作成やトレースの演習によって、応用問題を自分で解き、適確に論理展開できる力を習得します。					
目標		1. プログラミングに必要な論理的思考力を身につける。 2. 基本的なアルゴリズム(集計・探索・整列など)を理解できる。 3. 誰にでもわかりやすいフローチャートを作成できる。				比率 (講義:実習・演習)	5:5
スケジュール		【1日目】 ◆事前理解度テスト ◆アルゴリズムの基本 (領域・JISフローチャート、加算、交換、判断、繰り返し、配列) ◆集計 ◆探索(サーチ)		【2日目】 ◆整列(ソート) ◆マッチング ◆グループトータル (コントロールブレイク) ◆文字列操作 ◆事後理解度テスト			

ここがポイント！

初めてアルゴリズムを学習する新入社員でも理解しやすいように、やさしい問題からだんだん高度な問題へと流れに沿って内容が進みます。繰り返し学習できるように、豊富な演習問題を用意しています。



【ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)】

新入社員のためのロジック研修～ロジック構築力徹底トレーニング

コースのねらい

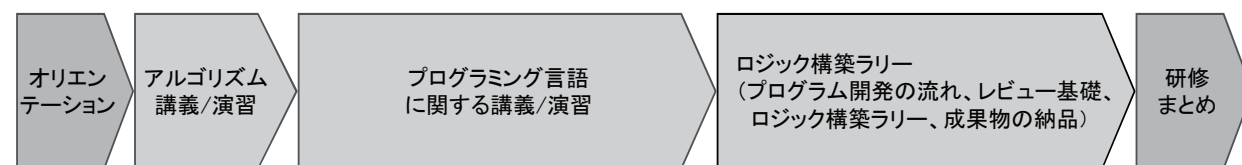
1. 基本アルゴリズムの習得
2. 言語スキル定着・向上

研修開始時の測定により新入社員のスキルレベルを明確にし、一人ひとりのレベルに合わせた課題作成、指導・アドバイスをを行います。
ロジック構築ラリー®では、課題作成とレビューの反復によりSEに必要な基本技術と基本動作を徹底的に習得します。

◆ここがポイント！

- ① プログラミング言語は、Java、VB.NET、C#、C言語、COBOLの5つを用意しています。
- ② アルゴリズム、プログラミング言語の学習の後、ロジック構築ラリー®を行います。
- ③ 新社員一人ひとりのレベルに応じた確実なスキルアップが図れます。

■研修全体像



ロジック構築ラリー®(課題作成+レビュー)

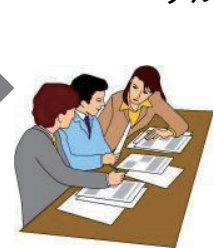
個人のスキルレベルに合わせて次々に課題を解いていきます。プログラム開発の流れを疑似体験しながら学ぶことで、プログラミング技術を「理解した」レベルにとどまらず、強化向上させることができます。繰り返し課題を解くことにより技術力を強化するとともに、報・連・相などの基本動作を習得できます。



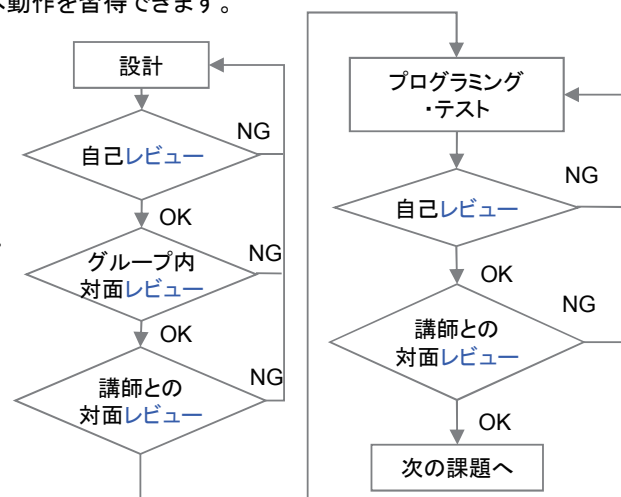
レベルに応じた課題作成
自己レビュー



グループ内対面レビュー



講師レビュー



◆ここがポイント！

講師は、作成した課題について新社員一人ひとりと対面レビューをし、個人のレベルに合わせた適切な指導・アドバイスをを行います。また日々の進捗報告(予定/実績、スケジュール遅延の原因・対策など)を聞き、社会人として必要な基本動作を指導します。

ロジック構築ラリーでは他者へフィードバックを与える場面があり、自然と予習、復習を行うようになり、結果として開始時と比にならないほどの知識が身につきました。どのような話し方が良いかなど、相手の立場になって考える力が身につきました。

新入社員の声

プログラムを組む際、初めは何を作っているのか理解できなかったが、演習を積むにつれてそれぞれのクラスやメソッドがどのような役割を果たしているのかを理解できるようになった。

オブジェクト指向プログラミングに関して、通常の課題に加えて、レビューを含めたラリーを行うことで、実際の現場でのシステム開発の流れを経験することができ、これから配属されて業務を進める上での事前準備とすることができ良かった。

新入社員のためのロジック研修（Java、VB.NET、C#、C言語、COBOL）～ロジック構築力徹底トレーニング



言語		Java	VB.NET	C#	C言語	COBOL
電子教材	コースコード	NUL50L	NUL52L	NUL58L	NUL54L	NUL56L
	価格(税込)	会員263,120円／非会員328,900円				
紙教材	コースコード	NUL51L	NUL53L	NUL59L	NUL55L	NUL57L
	価格(税込)	会員276,320円／非会員345,400円				
期間		13日間				
開催日程		東京 : 4/20～5/12 (Java、C#、C言語、COBOL)、5/20～6/5 (Java)、10/14～10/30 (Java) 大阪 : 4/20～5/12 (Java、C#、VB.NET) 名古屋: 4/20～5/12 (Java、VB.NET、C言語)、5/20～6/5 (Java)				
前提知識		「新入社員のためのシゴトのキホン」の4コース (NAI21L～NAI24L) および「ビジネススキル総合演習＋」(NAI29L)を修了している人。または同等の知識がある人。				
概要		UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。				
目標		1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. オブジェクト指向プログラミングを理解し、実装できる。 4. UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。				
スケジュール		比率(講義:実習・演習) 3:7				

※スケジュールは目安です。変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

【1日目】

- ◆オリエンテーション
- ◆開始時のスキルレベル測定
 - 事前理解度テスト
 - スキル項目チェック

【2～3日目】

- ◆アルゴリズム講義/演習

【4～8日目 (Java、VB.NET、C#)、4～7日目 (C言語、COBOL)】

- ◆プログラミング言語に関する講義/演習: 言語特性に応じた教材を使用した講義と、実機を使用した演習

【9～12日目 (Java、VB.NET、C#)、8～12日目 (C言語、COBOL)】

- ◆プログラム開発の流れ: プログラム開発の手順(仕様理解、プログラム構造設計、プログラミング、テスト、レビュー)の学習
- ◆レビュー基礎: 動画を使ってレビューについて学習
- ◆目標設定
- ◆ロジック構築ラリー®(課題作成+レビュー)
- ◆成果物の納品

【13日目】

- ◆終了時のスキルレベル測定
 - 事後理解度テスト
 - スキル項目チェック
- ◆ロジック研修まとめ: 「完了報告書」を記入
- ◆ロジック研修振り返り会

※「ロジック研修振り返り会」は育成ご担当者様も見学いただけます。詳細は別途お知らせいたします。

【ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)】
新入社員のためのシステム研修～システム開発プロジェクト疑似体験

コースの
ねらい

1. システム開発の全体像の理解

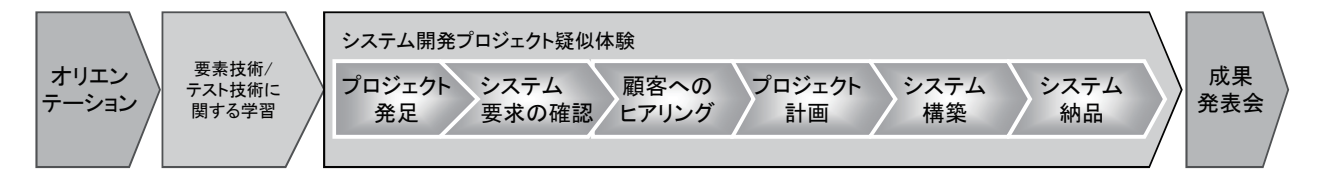
2. プロジェクト活動における
SE基本動作の習得

3. QCDの遵守

新入社員は、システム開発疑似体験において意思決定と問題解決を行います(課題解決型研修)。講師は、状況に応じて
上司役／顧客役として指導します。
システム開発の疑似体験を通じて「創造するSE」の土台となる
技術力・基本動作を習得します。

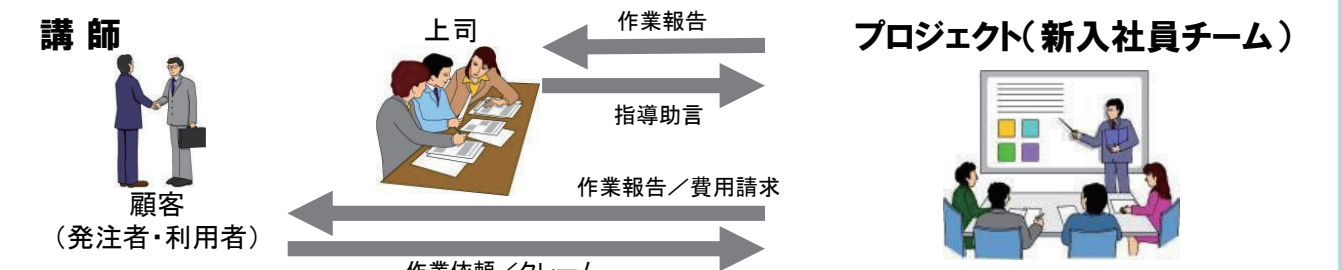
- ◆ここがポイント！
- ① プログラミング言語は、Java、VB.NET、C#、C言語、COBOLの5つを用意しています。
 - ② 実際に設定した納期を元に、プロジェクトの疑似体験を進めていきます。
 - ③ 要求仕様書の理解(与えられた要求仕様書の分析とシステムに必要な機能の検討)から、設計、開発、テスト、納品まで、各開発工程を体験します。

■研修全体像



◆ここがポイント！
講師は各演習場面にに応じて「上司役」または「顧客役(発注者・利用者)」となり、ロールプレイを行います。

このロールプレイによって、新入社員は開発現場でのコミュニケーションの重要性を学びます。
講師は一人ひとりのスキルの定着度を把握したうえで、プロジェクトを円滑に進められるように指導・アドバイスをします。
さらに演習ではQCD管理、報告・連絡・相談などの徹底を図ります。



- プロジェクト発足
1チーム5～6名のプロジェクトを組みます。プロジェクトの目標や運営ルールを設定し、プロジェクト計画として「スケジュール表」などの作成を行います。
- 講師・上司レビュー
要件確認、設計、開発などの各工程における、講師(上司役/顧客役)とのレビューやヒアリングをとおして、SEとして必要な基本動作(報告・連絡・相談、レビューの進め方、QCDの考え方)や、現場で求められるコミュニケーション力を養います。
- プロジェクト活動
グループミーティングにより、進捗管理やプロジェクト内の問題解決・情報共有を行います。これによりチームワークの重要性や、チームで「モノ作り」を行うことの難しさ、楽しさを体感し、達成感を得ます。

これまで触れてこなかったJDBC、サーブレットやJSPの知識を新たに得ることができ、またそれらを活用したシステムを実際に開発することで、具体性をもって身につけることができた。

新入社員の声

プロジェクト活動を通して、品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作と、システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができるようになりました。

技術、ビジネスマナー、納品の難しさ、あらゆることが学生の時と異なり、非常に刺激になる研修であった。短い受講期間にも関わらず、受講前に比べて格段に成長したという実感を得ることができた。

新入社員のためのシステム研修（Java、VB.NET、C#、C言語、COBOL）～システム開発プロジェクト疑似体験						
言語		Java	VB.NET	C#	C言語	COBOL
電子教材	コースコード	NUL60L	NUL62L	NUL68L	NUL64L	NUL66L
	価格(税込)	会員337,920円／非会員422,400円			個別開始	
紙教材	コースコード	NUL61L	NUL63L	NUL69L	NUL65L	NUL67L
	価格(税込)	会員351,120円／非会員438,900円			個別開始	
期間		16日間				
開催日程		東京:5/15～6/5(Java、C#)、6/10～7/1(Java) 大阪:5/15～6/5(Java、VB.NET、C#) 名古屋:5/15～6/5(Java、VB.NET) ※C言語、COBOLは、お客様個別開催研修(オンサイト・トレーニング)専用コースです。				
前提知識		「新入社員のためのロジック研修～ロジック構築力徹底トレーニング」コース(P.20～P.21)を修了している人。 または同等の知識がある人。				
概要		Webアプリケーション開発に必要な、要素技術と設計アーキテクチャーを習得します。また、品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動で必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。			品質・コスト・納期・チームワークを意識した開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動で必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。	
目標		1. オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3. システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 4. (Java) JDBCを使用したデータベースアクセスができる。 (VB.NET、C#) ADO.NETを利用してデータベース連携アプリケーションの作成ができる。 5. (Java) サーブレット/JSPによるWebアプリケーションの作成ができる。 (VB.NET、C#) Visual StudioによるWebアプリケーションの作成ができる。			1. システム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3. システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。	
比率(講義:実習・演習)		3:7			1:9	
スケジュール		※スケジュールは目安です。変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。				
【1日目】◆オリエンテーション ◆開始時のスキルレベル測定 ◆システム開発の流れ						
Java、VB.NET、C#						
【2～5日目】 ◆要素技術に関する学習 ◆テスト技術						
【6～7日目】 ◆プロトタイプング ◆プロジェクト発足						
◆システム要求の確認						
【8～14日目】 ◆顧客へのヒアリング ◆プロジェクト計画						
◆システム開発						
【15日目】 ◆納品準備 ◆システム納品 ◆終了時のスキルレベル測定						
◆研修振り返り ◆プロジェクトまとめ ◆成果発表会準備						
【16日目】 ◆成果発表会						
※「成果発表会」は育成ご担当者様も見学いただけます。 詳細は別途お知らせいたします。						

【ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)】

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修

コースの ねらい

1. 社会人としてのマインドを醸成
2. C言語から組込みプログラミングまで、幅広い基礎技術の習得と定着化
3. プロジェクト型研修を通じ、現場に即した開発力を養成

「組込みって聞いたことはあるけれど一体何なの？」
「いわゆるシステム開発と何が違うの？」
「モノが動くって面白い！」
これらを新たに社会人となる皆さんに、理解してもらい、
実際のボードを味わってもらおうのが本コースの特色です。

◆ここがポイント！

- ① プログラミング基礎から開発技術へ段階的に、かつ着実に積み上げるカリキュラム構成になっています。
繰り返して問題を解くことにより、スキルの定着を図ります。また、講師との対面レビューにより、受講者に合った適切な指導、アドバイスをを行います。
- ② 上流工程から下流工程に至るソフトウェア開発プロセスを疑似的に体験できるので、QCDを意識した業務遂行（進捗把握・対策実施、品質状況把握、時間・コスト管理）を徹底できます。チーム活動の重要性や基本動作の習得、問題解決力の向上を図ることもできます。
- ③ 成功体験だけでなく、「納期に間に合わない」、「合意した仕様を実現できない」などといったさまざまな失敗体験を研修中に実体験でき、実務環境へ飛び込んでいく自信をつけることができます。

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～C言語プログラミング～									
電子教材	コースコード	NFE08L	紙教材	コースコード	NFE09L	期間	9日間	開催日程	東京:6/3～6/15 大阪:Webでご確認ください。
	価格(税込)	会員182,160円 非会員227,700円		価格(税込)	会員186,560円 非会員233,200円				
前提知識		Windowsの操作(エクスプローラーやログオンなどの操作)経験があること。							
概要		C言語のプログラミング方法について、関数の作成方法や、理解が難しいとされている、ポインタやメモリを重点的に、講義と実習を通じて系統的に順序だてて学習します。実習では、キーボードやディスプレイなどの標準入出力の操作方法から、効率的なデータ処理方法、ダブルポインタやポインタ配列、さらに動的メモリ領域の取り扱いなどについて学習します。また、多人数開発の難しさを理解し、理解しやすいプログラムの作成方法を学習します。							
目標		1. C言語の標準的な機能(関数、ポインタ、構造体)を利用してプログラムを作成できる。 2. 標準入出力命令を使用してプログラムを作成できる。 3. ポインタやメモリ操作など、プログラムで起こしやすい問題点を理解する。 4. 多重ポインタを使用したプログラムを作成できる。 5. malloc()などによる動的メモリを使用したプログラムを作成できる。 6. リストなどのポインタを用いたデータ構造を取り扱うプログラムを作成できる。 7. 関数分割、ファイル分割による、複数人でのプログラミングに応じた、開発作業が行える。							
スケジュール		【1～3日目】 C言語プログラミングの基礎 【4～5日目】 C言語プログラミング(メモリ・ポインタ編) 【6～9日目】 C言語プログラミング・グループ演習				比率 (講義:実習・演習)		3:7	

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～組込みプログラミング～									
電子教材	コースコード	NFE10L	紙教材	コースコード	NFE11L	期間	10日間	開催日程	東京:6/16～6/29 大阪:Webでご確認ください。
	価格(税込)	会員202,400円 非会員253,000円		価格(税込)	会員215,600円 非会員269,500円				
前提知識		「新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～C言語プログラミング～」(NFE08LまたはNFE09L)コースを修了している人。または同等の知識がある人。							
概要		組込みソフトウェア開発で使用するマイコンの制御について、説明と演習により学習します。実習では、富士通製32bitマイコンを題材として、統合開発環境を使用したクロス開発により、組込み特有のアルゴリズムやさまざまな周辺機能を組み合わせたプログラムを繰り返し作成することで、プログラム開発力の向上を図ります。また、リアルタイムOSの概要、μITRON上でのサービスコールを使用したプログラミング方法を身につけることができます。							
目標		1. IOポートとタイマーを活用し、LED、スイッチ、ブザー、モーター、センサーなどを操作するプログラムを作成できる。 2. 組込みの動作原理を理解し、割込みを処理するプログラムを作成できる。 3. プログラム仕様を元に、モジュール構造設計から単体テストに必要なドキュメントの作成とレビューが行える。 4. リアルタイムOSやμITRONの特徴について理解する。 5. μITRONのサービスコールや機能を使用したプログラムを作成できる。							
スケジュール		【1～3日目】 組込みC言語プログラミング 【4～7日目】 組込みプログラム開発演習 【8～10日目】 リアルタイムOSプログラミング(μITRON編)				比率 (講義:実習・演習)		5:5	

※個人カルテの発行条件

「新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～C言語プログラミング～(NFE08LまたはNFE09L)」から、「新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～開発体験(NFE12LまたはNFE13L)」までの3コースすべてをお申込みの場合に、個人カルテを発行いたします。

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～開発体験～									
電子教材	コースコード	NFE12L	紙教材	コースコード	NFE13L	期間	14日間	開催日程	東京:6/30～7/17 大阪:Webでご確認ください。
	価格(税込)	会員295,680円 非会員369,600円		価格(税込)	会員304,480円 非会員380,600円				
前提知識		「新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～組込みプログラミング～」(NFE10LまたはNFE11L)コースを修了している人。または同等の知識がある人。							
概要		ソフトウェア要求定義からソフトウェア総合テストに至るまでの開発プロセスを説明と演習によって学習します。状態遷移表などによる仕様のモデル化、テスト設計、レビュー技術をとおり、システム開発作業を効果的に習得します。研修後半では、プロジェクト発足からシステム納品までに主体的に取り組むことにより、組込みソフトウェア開発作業の流れを習得します。実際の開発に必要なとなる、チーム活動における主体的な行動意識や、QCDへの意識、報連相などの基本動作を身につけます。							
目標		1. 要求仕様を状態遷移図、状態遷移表などにモデル化する手法を理解する。 2. 効果的なレビューを実施するための基礎技術を理解する。 3. 組込みソフトウェア開発におけるテストケース設計技術を理解する。 4. 単体／結合テストをホワイトボックス／ブラックボックスの観点からテストする。 5. ソフトウェア開発の一連の作業を自主的に推進できるスキルを習得する。 6. プロジェクトメンバーとして必要な行動様式を定着させる(協調意識、報連相などの基本動作、QCDの意識)。 7. 技術的な課題を自力で解決する技術者マインドを醸成する。							
スケジュール		【1～3日目】 工程体験:要件定義・設計 【4日目】 実装・テスト 【5～9日目】 プロジェクト疑似体験:要件定義・設計 【10～14日目】 実装・テスト・発表 ※「発表」は育成ご担当者様も見学いただけます。 詳細は別途お知らせいたします。						比率 (講義:実習・演習)	3:7

■研修全体像

本研修は、「C言語プログラミング」→「組込みプログラミング」→「開発体験」の3コースで構成されています。

(1)新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～ C言語プログラミング～ (NFE08L／NFE09L)

苦手意識を持ちやすいC言語のポインタやメモリを徹底的に訓練し、「多人数での開発」や「他人が作った設計ドキュメントからのプログラミング」の難しさを体験し、理解します。チームで開発に取り組み、仮想のお客様に対して仕様を決めます。それに沿った設計ドキュメントを作成し、そのドキュメントを他チームに渡してプログラムの実装を依頼します。

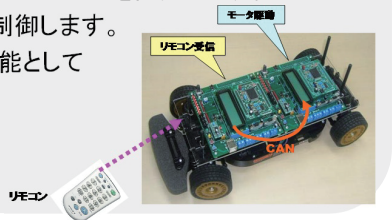
(2)新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～組込みプログラミング～ (NFE10L／NFE11L)

組込みソフトウェアのプログラミングを学習し、実際に学習ボードを操作します。LEDの点灯、ブザーによるメロディー再生、モーター制御、7セグメントLEDのダイナミック点灯など、モノが動くことの喜びを実体験して組込みの面白さを感じることができます。また、割込みやリアルタイムOSなど組込みならではのプログラムについても学習します。



(3)新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～ 開発体験～ (NFE12L／NFE13L)

コース前半では組込みソフトウェア開発における要求定義から総合テストに至るまでの各工程を体験し、学習します。コース後半ではチームで、実際の開発プロジェクトを疑似的に体験します。12分の1スケールのラジコンカーを赤外線発光のテレビリモコンで操作するシステムを開発します。ボード間はCANで通信させ、リモコン受信とモーター駆動を別マイコンで制御します。車としての基本的な機能以外に、チームごとに特色のある仕様を追加機能として提案します。講師は、あるときはお客様役、あるときは上司役になりきって、実際の開発シーンを演出します。



【ITプロフェッショナル(システム基盤)】
新入社員のためのシステム基盤構築研修

コースの
ねらい

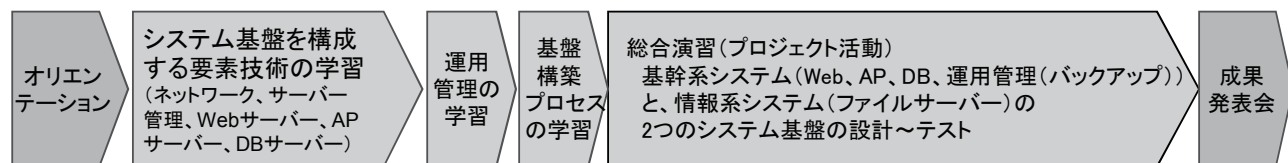
- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. システム基盤の全体像の理解 2. QCDの遵守 3. 運用の重要性の理解 | <p>システム基盤環境を構成する要素技術や、運用管理の重要性を体系的に学習した後、システム基盤構築の上流工程から下流工程までの一連の工程をプロジェクト活動として体験します。</p> |
|---|--|

システム基盤環境を構成する要素技術や、運用管理の重要性を体系的に学習した後、システム基盤構築の上流工程から下流工程までの一連の工程をプロジェクト活動として体験します。

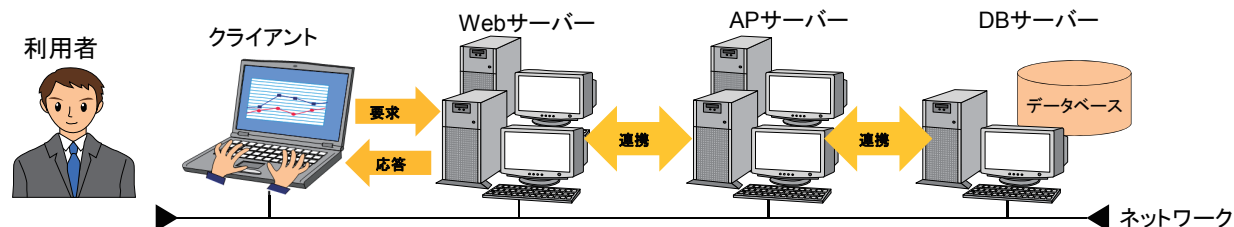
◆ここがポイント！

- ① Web3階層システムのシステム基盤を構成するうえで必要となる要素技術や運用管理の重要性を体系的に学習し、各種サーバーを構築します。
- ② システム基盤構築の一連の工程（要件定義、基本設計、詳細設計、構築、単体テスト、結合テスト、システムテスト）をプロジェクト活動として体験し、品質確保／コスト遵守／納期厳守のための基本動作や問題解決力およびコミュニケーション能力を養います。

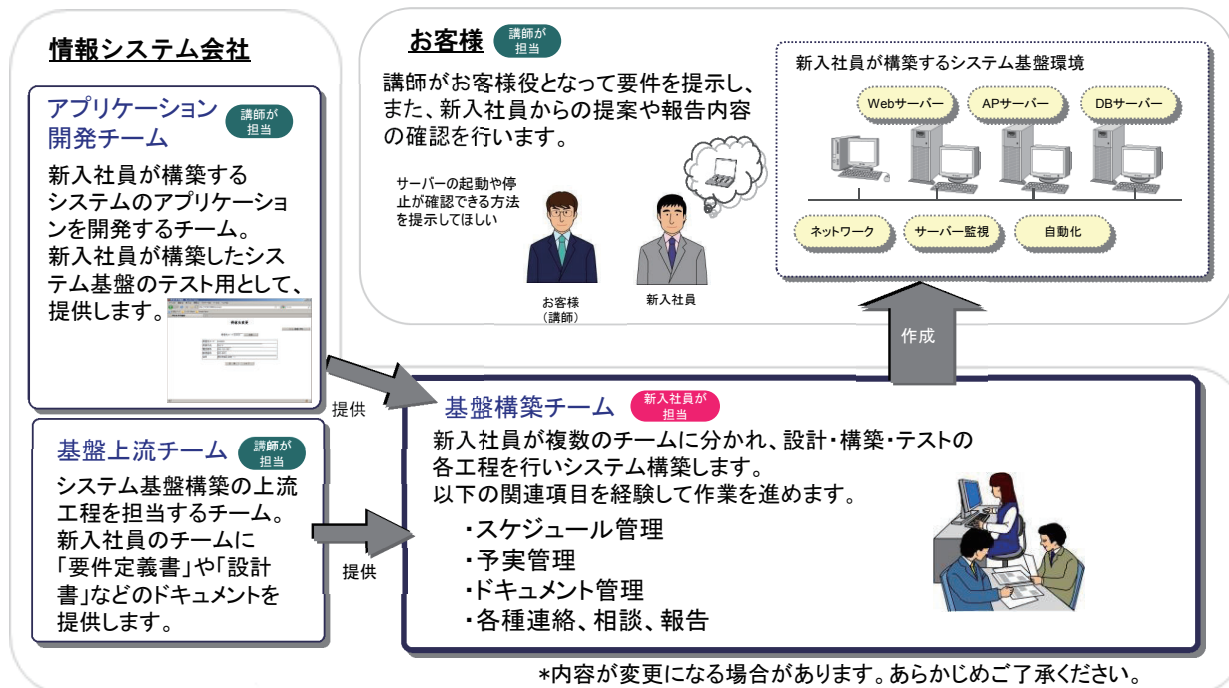
■研修全体像



■Web3階層システムの全体像



■総合演習における新入社員の役割



新入社員のためのシステム基盤構築研修					        				
電子教材	コースコード	NBI15L	紙教材	コースコード	NBI16L	期間	16日間		
	価格(税込)	会員337,920円 非会員422,400円		価格(税込)	会員351,120円 非会員438,900円				
日程		東京：5/15～6/5、6/10～7/1							
前提知識		「新入社員のためのIT研修～実務で使えるコンピュータ基礎技術～」(NBI04LまたはNBI13L)コースを修了している人。または同等の知識がある人。							
概要		システム基盤構築に必要な要素技術(ネットワーク、サーバー管理、Web3階層システム)について学習します。また、システム基盤構築作業の全体的な流れや、基本的な運用管理のポイントも合わせて学習します。研修の後半では、システム基盤の設計から構築までの全体的な流れを体験することにより、システム開発全体におけるシステム基盤構築作業の位置付け、設計、構築概要を理解します。また、品質・コスト・納期を意識した、プロジェクト活動で求められる問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。							
目標		1. システム基盤構築作業の全体的な流れを説明できる。 2. 顧客要件に対応したシステム基盤のパラメータ設計およびテスト設計ができる。 3. システム基盤の構築作業(構築手順書作成、構築作業)ができる。 4. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 5. システム基盤構築を進めるためのチーム活動と基本動作ができる。							
スケジュール						比率 (講義:実習・演習)	4:6		

※スケジュールは目安です。変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【1 日 目】

- ◆オリエンテーション
- ◆開始時のスキルレベル測定
 - 事前理解度テスト
 - スキル項目チェック
- ◆システム基盤の全体像と、構築プロセスの確認

【2日目～6日目】

- ◆要素技術に関する学習
ネットワーク、サーバー管理、Webサーバー、APサーバー、DBサーバーの要素技術と要件に沿った実装方法を学習します。
- 【7日目～8日目】
 - ◆運用管理の概論に関する学習
運用管理の重要性、意識すべき要素を学習します。
 - ◆基盤構築プロセスの学習
システム基盤を構築するプロセスと、そのポイントを学習します。

【7日目～8日目】

- ◆運用管理の概論に関する学習
運用管理の重要性、意識すべき要素を学習します。
- ◆基盤構築プロセスの学習
システム基盤を構築するプロセスと、そのポイントを学習します。

【9日目～14日目】

- ◆総合演習(プロジェクト活動)
- 基幹システム(Web、AP、DB、運用管理(バックアップ))と、
情報システム(ファイルサーバー)の2つのシステム基盤
の設計～テストまでの一連の構築プロセスを実施します。

【15日目】

- ◆納品準備
- ◆納品
- ◆終了時のスキルレベル測定
 - 事後理解度テスト
 - スキル項目チェック
- ◆システム基盤構築振り返り
- ◆成果発表会準備

【16日目】

- ◆成果発表会
- システム基盤構築研修の作業を通じて得られた知識、経験、気づきと、配属後の目標をプロジェクト単位で報告します。
- ※「成果発表会」は育成ご担当者様も見学いただけます。
詳細は別途お知らせいたします。

システムの構築の流れや、システム間の関係を考えることができた。グループでの活動だったので作業を円滑に進めるためにどうすべきかなどの、技術面以外の部分でも学ぶことは多かった。

新入社員の声

さらなる知識の向上が必要と感じた。演習で触れなかった技術やこれからさらに発展していく技術もあるので、情報に対するアンテナを張っておくことが必要と感じる。

研修前は、IPアドレスの設定の仕方さえ知らなかったが、現在では要件に合わせてシステムを構築できるようになった。

【ITソリューションセールス】

新入社員のためのITソリューションセールス研修

コースの
ねらい

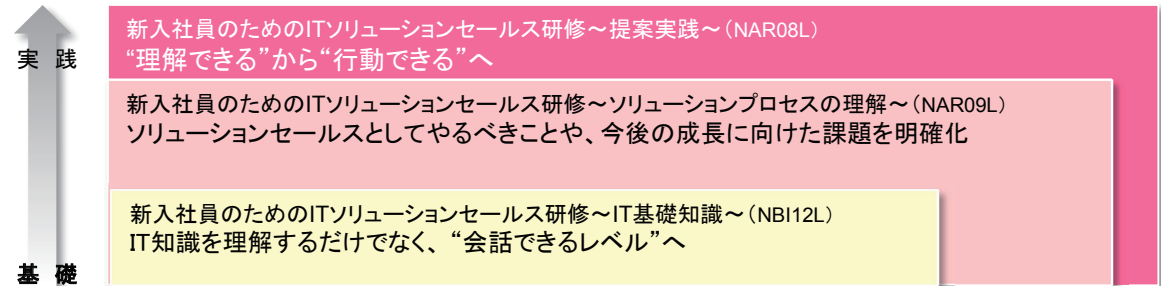
1. 社会人としての基本動作と、お客様起点の考え方の理解
2. ITソリューションセールスとして、“会話・説明できる”レベルでのIT基礎知識の習得
3. ITソリューションセールスの役割と、ソリューションプロセスの理解
4. ロールプレイによる、“理解できる”から“行動できる”に向けた実践力の定着化

◆ここがポイント！

- ① IT知識を理解するだけでなく、“会話できるレベル”へ！
講義を通じてIT知識をインプットするのみではなく、「学んだIT用語を相手に説明する演習」「ビジネス活用を考える演習」などを通じて理解度を高め、会話できるレベルを目指します。IT基礎知識だけでなく、トレンドキーワード（デジタルビジネス、クラウド、ビッグデータなど）をおもさえることで、会話の幅を広げます。
- ②ソリューションセールスとしてやるべきことや、今後の成長に向けた課題を明確化！
ソリューションプロセスの理解によって“ITソリューションセールスとしてやるべきこと”が明確化でき、実務での迷走感を払拭できます。また、評価を自己・他者・講師の三方向から行うことで、自身の強み/弱みを客観的に知ることができ、今後の自身の成長に活用できます。
- ③ “理解できる”から“行動できる”へ！
提案実践編(NAR08L)では、ロールプレイ形式でケース企業への提案活動を体験します。前提の研修で学んだことを踏まえ、何をすべきかを自身で考え、行動に移します。お客様役・上司役の講師とのやり取りと、提案活動の一連の流れを体験することで、土台となる知識・スキル・マインドを総合的に習得し、“理解できる”から“行動できる”への発展と定着化を図ります。

■研修全体像

本研修は、「IT基礎知識」→「ソリューションプロセスの理解」→「提案実践」の3コースで構成されています。



※個人カルテの発行条件

「新入社員のためのITソリューションセールス研修～ソリューションプロセスの理解～(NAR09L)」コースをお申込みの場合に、個人カルテを発行いたします。

新入社員のためのITソリューションセールス研修～IT基礎知識～					
紙教材 コースコード	NBI12L	価格(税込)	会員47,520円 非会員59,400円	期間	2日間
開催日程	東京：4/20～4/21				
前提知識	特に必要ありません。				
概要	ITソリューションセールスとして、必要となる基本的なIT知識を習得します。システム提案に必要なユーザーと同等レベルのシステム関連知識やトレンドキーワード（IoT、AI、VRなど）を学習します。				
目標	1. お客様に提供するITソリューションの概要を理解する(事例から学ぶ)。 2. 商談活動で必要となる基本的なIT知識・スキルを習得する。 3. システム開発のプロセスおよび基本的な用語を理解する。 4. ビジネスプロセスにおけるITソリューションセールスとしての役割を理解する。			比率 (講義:実習:演習)	6:4
スケジュール	【1日目】 ◆ITソリューションとは ◆ITソリューションセールスにITの知識が必要な理由 ◆ITについて知ろう		【2日目】 ◆ITについて知ろう(つづき) ◆システム開発について知ろう ◆トレンドをおさえよう		

新入社員のためのITソリューションセールス研修～ソリューションプロセスの理解～					
紙教材 コースコード	NAR09L	価格(税込)	会員220,000円 非会員275,000円	期間	10日間
開催日程	東京：4/22～5/11				
前提知識	特に必要ありません。				
概要	ソリューションビジネスを行ううえで基礎となるプロセスの全体像を理解し、事例を踏まえながら、各プロセスの実行に必要なスキル・知識を習得します。				
目標	1. ソリューションプロセスの全体の流れを理解する。 2. 各プロセスにおけるポイントや留意点を理解する。 3. ソリューションセールスとしてのマインドや立ち居振る舞いを習得する。			比率 (講義:実習:演習)	4:6
スケジュール	【1～3日目】 ◆オリエンテーション ◆開始時のスキルチェック ◆ITソリューションプロセスの全体の流れを理解する ◆リレーション構築のプロセス ◆営業計画のプロセス	【4～5日目】 ◆商談のプロセス	【6日目】 ◆商談のプロセス(つづき)	【7日目～9日目】 ◆提案・クロージングのプロセス ◆契約のプロセス ◆サービス構築のプロセス ◆債権管理のプロセス	【10日目】 ◆運用のプロセス ◆成果発表会

■ITソリューションプロセス

■各プロセスでの説明の流れ

新入社員のためのITソリューションセールス研修～提案実践～					
紙教材 コースコード	NAR08L	価格(税込)	会員110,000円 非会員137,500円	期間	5日間
開催日程	東京：5/12～5/18				
前提知識	「新入社員のためのITソリューションセールス研修～ソリューションプロセスの理解～」(NAR09L)コースを修了している人。または同等の知識がある人。				
概要	講師がお客様・上司役となり、ケース企業への提案活動(アプローチから提案まで)をロールプレイ形式で体験します。1つの事例をととしてITソリューションプロセスの一連の流れを体験することで、ITソリューションセールスの土台となるIT知識・スキル・マインドを総合的に習得します。また、その中で自分の強み、弱みを認識し、現場配属に備えます。				
目標	1. お客様のニーズを把握し、仮説を立て、最適なITソリューションを提供する流れを体得する。 2. お客様や上司とのコミュニケーション方法を習得する。 3. グループ作業における立ち居振る舞いやコミュニケーション方法を習得する。			比率 (講義:実習:演習)	1:9
スケジュール	【1日目】 ◆オリエンテーション ◆基本講義 ◆提案実践 -顧客訪問準備 -顧客訪問(一次) ◆営業日報作成	【2日目】 ◆提案実践 -顧客訪問準備 -顧客訪問(二次) ◆営業日報作成	【3日目】 ◆提案実践 -顧客訪問 ◆ITソリューション提案 講義 ◆営業日報作成	【4日目】 ◆提案実践 -顧客訪問 -顧客向けITソリューション提案の準備 ◆営業日報作成	【5日目】 ◆提案実践 -顧客向けITソリューション提案の準備 -顧客へのITソリューション提案 ◆研修まとめ

【ITスキル共通】
新入社員のためのITプロへの第一歩 ～最新技術動向とビジネス作法～



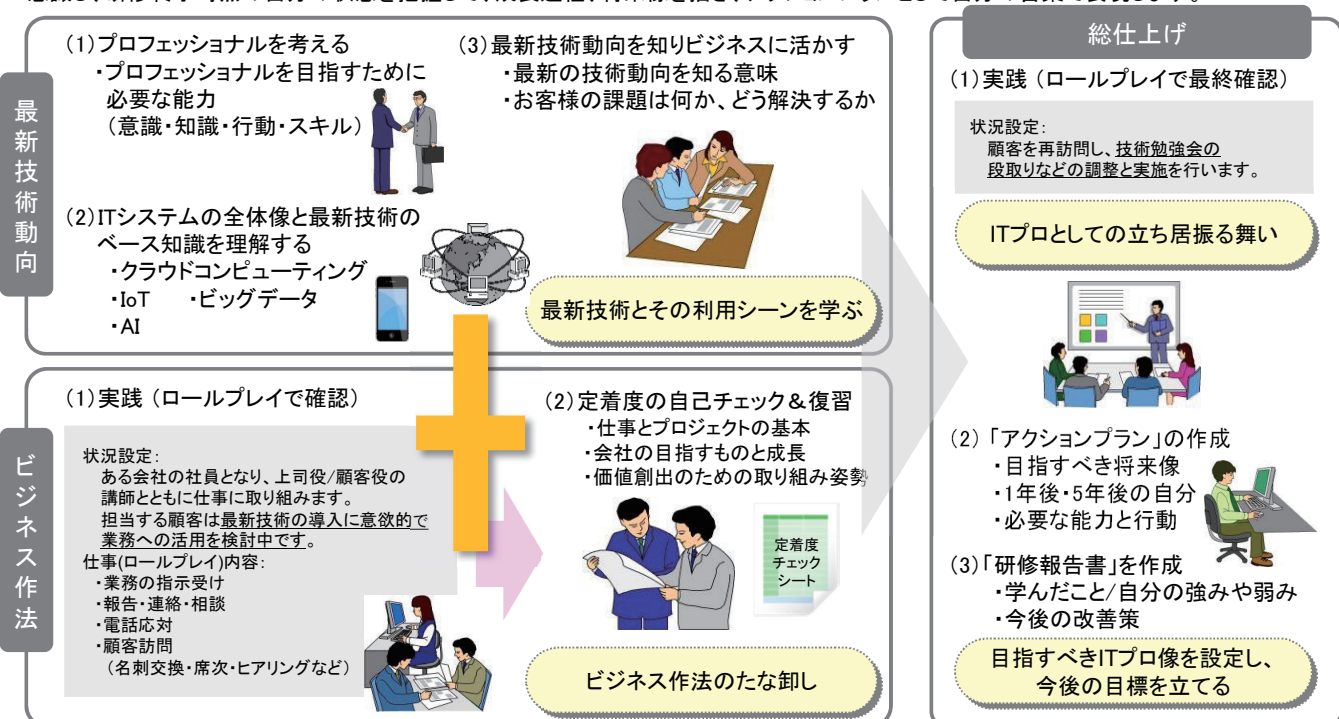
コースの
ねらい

配属を目前にした総仕上げとして、業界動向に目を向ける重要性和、情報収集の方法を学び、また、ビジネススキルの定着状態を評価し、振り返ります。さらに、IT業界のプロフェッショナル(ITプロ)として仕事を続けるために備えるべき心得や振る舞いを再認識します。自身の理想の成長像を描いて行動宣言し、さらなる成長意欲に着火します。

電子教材	コースコード	NBI17L	紙教材	コースコード	NBI18L	期間	2日間
	価格(税込)	会員52,800円 非会員66,000円		価格(税込)	会員57,200円 非会員71,500円		
開催日程		東京:6/8～6/9、7/2～7/3 大阪・名古屋:6/8～6/9					
前提知識		「新入社員のためのシゴトのキホン」シリーズの4コース(NAI21L～NAI24L)、「ビジネススキル総合演習++」(NAI29L)および「新入社員のためのIT研修～実務で使えるコンピュータ基礎技術～」(NBI04LまたはNBI13L)を修了している人。または同等の知識がある人。					
概要		IT業界のプロフェッショナルとして必要なICT関連の最新技術動向に目を向ける重要性を学び、調べ方の基本を学習します。また、現場業務に臨むにあたって、実践的なロールプレイを用いてビジネススキルの定着度合いを確認します。仕事を行う上で、個人、さらに組織の一員として必要なものは何かを考え、プロフェッショナルを目指すために必要なアクションを検討します。					
目標		1. ICT関連の技術動向やキーワードを知ることの重要性を理解できる。 2. ICT関連の技術動向やキーワードを調べられる。 3. 仕事の進め方・マナーを実践できる。 4. 分かりやすいビジネス文書を作成できる。 5. ビジネスシーンで求められるコミュニケーションを実践できる。				比率 (講義:実習・演習)	3:7
スケジュール		【1日目】 ◆実践的ロールプレイ 最新技術導入に意欲的な顧客の対応 ー電話応対、顧客訪問 ー名刺交換、ヒアリング ◆ビジネスパーソンとなった自分を振り返る ◆ビジネスパーソンとして求められるもの		◆プロフェッショナルとは何か ◆ITシステムの全体像と技術動向 ークラウドコンピューティング ービッグデータ ーIoT ーAI		【2日目】 ◆実践的ロールプレイ 再訪問と技術勉強会の実施 ◆プロフェッショナルへの一歩 ープロフェッショナルとしての学びのスタイル ープロフェッショナルを目指すために ◆アクションプランの作成	

◆ここがポイント！

「プロフェッショナルとして成長し続けることを決意する」新入社員研修の最終フェーズです。研修期間中に培った意識・知識・行動・スキルについて、実践に近いロールプレイと自己・他者評価で習熟度を測ります。「プロフェッショナルとして成長し続ける人材の核」となる能力を意識し、研修終了時点の自分の状態を把握して、成長過程、将来像を描き、アクションプランとして自分の言葉で表現します。



【ITプロフェッショナル(アプリケーション開発)】
はじめてのアジャイル開発

NEW



コースの
ねらい

1. アジャイル開発の全体像を理解
2. 利用者の満足を最優先とする、システム開発の進め方を習得

「アジャイル開発とは何か」、知識だけではなく、アジャイル開発をプロジェクトで体験することにより、アジャイル開発の初学者にありがちな「アジャイルは知っているけれど、体験できない」を解決します。

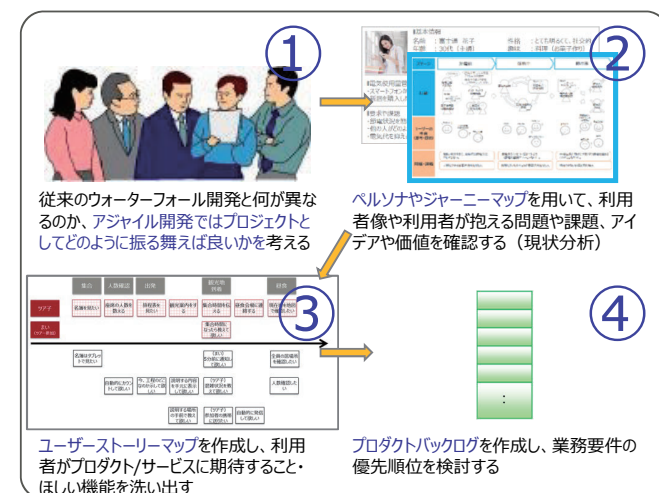
電子教材	コースコード	NUL80L	紙教材	コースコード	NUL81L	期間	3日間
	価格(税込)	会員61,600円 非会員77,000円		価格(税込)	会員63,360円 非会員79,200円		
開催日程		東京:6/10～6/12、7/6～7/8 大阪・名古屋:6/10～6/12				比率 (講義:実習・演習)	4:6
前提知識		システム開発工程についての基本的な知識があること。					
概要		アジャイル開発とは何か、講義と演習をととして学習します。本コースを受講することにより、アジャイル開発(準備計画から開発まで)の一連の流れを学びます。準備計画では、ペルソナ・ジャーニーマップ・ユーザーストーリーを用いて、プロダクトバックログ(要求一覧)を作成し、顧客の要求を整理します。開発では、スクラムをベースとしたアジャイルの考え方・進め方を学びます。					
目標		1.一般的なアジャイル開発の概要を理解する。 2.プロダクトバックログを作成するためのポイントを知る。 3.スクラム手法を取り入れた、アジャイル開発のプロジェクト運営を行える。					
スケジュール		【1日目】 ◆アジャイルとは -アジャイルとは何か -アジャイル開発の手法 -アジャイルの必要性 -ウォーターフォールとアジャイルの違い ◆要求の整理 [演習]チームビルディングしよう [演習]現状を分析しよう [演習]ユーザーストーリーマップを作成しよう [演習]プロダクトバックログを作成しよう				【2日目】 ◆アジャイル開発体験 -スクラムの進め方 -スクラムの役割・イベント・作成物 [演習]スプリント#1 【3日目】 [演習]スプリント#2 [演習]スプリント#3 ※スケジュールは目安です。変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。	

◆ここがポイント！

「アジャイル開発とは何か」、「準備計画フェーズ」から「開発フェーズ」までの流れを講義と演習を交互に進めることにより、書籍では学習できない、アジャイル開発によるプロジェクト活動を体験できます。

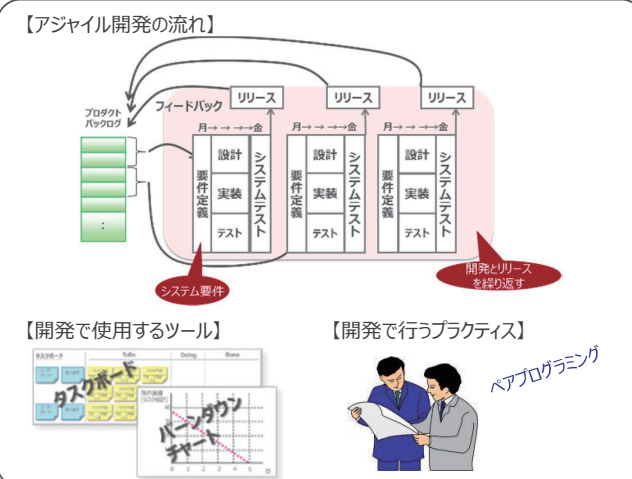
準備計画フェーズ(企画～業務要件定義)の演習【1日目】

現状を分析し、ありたい姿を考えることにより、業務要件を定義する。



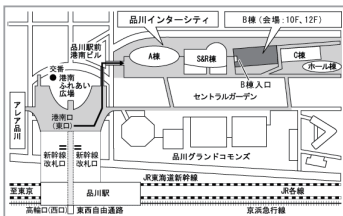
開発フェーズの演習【2-3日目】

優先順位の高いものから、短期間で動くシステムを開発し、利用者に使用してもらう。利用者からフィードバックを貰い、改善することにより、システムの価値を高めていく。



会場一覧

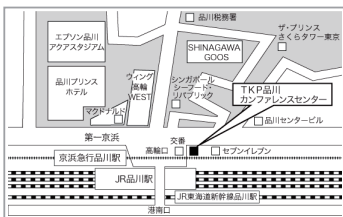
■東京地区 品川ラーニングセンター



東京都港区港南2-15-2 品川インターシティB棟 10階、12階

JR各線、京浜急行線 品川駅港南口(東口)徒歩8分
新幹線 品川駅北口あるいは南口徒歩8分 港南口を出て、2階通路から品川インターシティへお入りください。

TKP品川カンファレンスセンター



東京都港区高輪3-26-33 京急第10ビル

京浜急行・山手線・京浜東北線・横須賀線・東海道本線・東海道新幹線『品川駅』高輪口より 徒歩約1分

■名古屋地区 名古屋ラーニングセンター



愛知県名古屋市中区錦一丁目4番6号 大樹生命名古屋ビル 5階

地下鉄桜通線 丸の内駅 6番出口 徒歩1分
地下鉄鶴舞線 丸の内駅 7番出口 徒歩1分
地下鉄東山線/鶴舞線 伏見駅 1番/10番出口 徒歩6分

■大阪地区 関西ラーニングセンター



大阪府大阪市中央区城見2-1-61
TWIN21MIDタワー 4階、12階、20階

JR東西線 京橋駅 西出口(東西線のホームを経由) 徒歩8分
京阪電鉄 京橋駅 片町口 徒歩8分
地下鉄長堀鶴見緑地線 大阪ビジネスパーク駅 4番出口 徒歩5分

人材育成のための助成金活用のご案内 ～人材開発支援助成金～

人材開発支援助成金とは、労働者の職業能力開発を効果的に促進するため、職業訓練などを段階的かつ体系的に実施する事業主に対して助成される制度です。

この助成金を利用することで、**研修費用のほか、受講時間などに対する賃金の助成**を受けられる場合があります。

【平成31年4月1日からの主な改正内容】

- 1.教育訓練休暇付与コースに、長期の教育訓練休暇制度を導入しました。
- 2.一般訓練コース、特別育成訓練コースにおける生産性要件の適用について、実績主義から成果主義に変更しました。また、教育訓練休暇付与コースのうち新設の長期教育訓練休暇制度の当該要件についても、成果主義が適用されます。
- 3.eラーニングを含む通信制の訓練(一般教育訓練給付指定講座に限る。)について、一般訓練コース、特別育成訓練コース(一般職業訓練)における経費助成の対象訓練に追加しました。
- 4.一般訓練コース、教育訓練休暇付与コースの助成対象事業主に中小企業以外の事業主を追加しました。
- 5.東日本大震災にかかる暫定措置について、適用対象地域が福島県のみとなります。
- 6.特定訓練コースのOJT訓練を行う際に提出するカリキュラムの項目を明確化しました。
- 7.訓練を行う者が不正受給に関与した場合についても雇用関係助成金の不支給措置の対象となることに伴い、当該不支給措置を受けること等について訓練を行う者が承諾する旨の書類(支給申請承諾書)を支給申請時に提出することとなりました。

詳細は、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

おすすめコース(内定者向けeラーニング)

～こんなご要望はありませんか?～

文系採用の内定者に、事前にICTの基礎知識を習得させたい。

内定者向けにICTに関するeラーニングコースを多数提供しています。
情報処理試験対策コースもご紹介します。

内定者向けeラーニング(ICT基礎知識)

◆コンピュータシステムの基礎を習得させたい

超入門! コンピュータシステムの
しくみ(eラーニング)
UEL57B

内定者のためのコンピュータ基礎
(ハードウェア・ソフトウェア)
UNT09B

内定者のためのデータベース基礎
UNT10B

内定者のためのネットワーク基礎
UNT11B

内定者のためのサーバ基礎
UNT12B

◆アプリケーション開発の基礎を習得させたい

システム開発基礎(eラーニング)
UEL34B

システム設計基礎(eラーニング)
UEL38B

アルゴリズムとデータ構造の基礎
(eラーニング)
UEL40B

◆プログラミングの基礎を習得させたい

COBOLプログラミング基礎
(eラーニング)
UEL45B

C言語プログラミングの基礎
(eラーニング)
UEL46B

【e講義動画】C言語プログラミング
の基礎
UHD27D

Javaプログラミング基礎 演習付
(eラーニング)
UEL35B

【e講義動画】【Javaプログラマー
早期育成シリーズ】セット クラウド
実習環境付 UCL05D

【e講義動画】
C#プログラミング基礎
UHD08D

◆情報処理試験対策をさせたい

合格キャンパス【午前・午後】基本
情報技術者試験対策講座
(2020年春) UTC76B

合格キャンパス【午後】基本情報
技術者試験対策講座(2020年春)
UTC82B



申込み・お問い合わせ先

■申込み・個人情報に関するお問い合わせ
一般社団法人情報サービス産業協会 ICTカレッジ 事務局 電話 03-5289-7651
受付時間:9時～17時(土曜日、日曜日、祝祭日を除く)

■コース内容・会場に関するお問い合わせ
株式会社富士通ラーニングメディア お客様総合センター 電話 0120-55-9019
受付時間:9時～17時30分(土曜日、日曜日、祝祭日を除く)

■JISA ICTカレッジ
https://www.jisa.or.jp/event/ict_college/tabid/156/Default.aspx